

## 令和6年度 事業報告書(報告の概要)

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

本事業年度における事業の概要は、次のとおりです。

### 1 配合飼料価格差補てん事業（定款第4条第1項第1号事業）

#### (1) 配合飼料価格差補てん数量契約

##### ① 加入者件数

加入者件数は527件で、前年度に比べて9件減少し、その内訳は乳用牛、肉用牛及び養豚で3戸ずつ減少しました。

(単位：件)

畜種	加入者件数		
	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	増減 (A-B)
乳用牛	73	76	△ 3
肉用牛	343	346	△ 3
豚	42	45	△ 3
採卵鶏	24	24	0
肉用鶏	43	43	0
その他	2	2	0
計	527	536	△ 9

##### ② 契約数量

令和6年度の契約数量は667,129トンで、前年度に比べて27,822トン減少しました。畜種別では、採卵鶏では増加しましたが、乳用牛、肉用牛、豚及び肉用鶏で減少し、特に豚で大きく減少しました。

(単位：トン)

畜種／四半期	第1	第2	第3	第4	合計 (A)	令和5年度 (B)	増減 (A-B)
乳用牛	5,148	5,147	5,151	5,146	20,592	23,082	△ 2,490
肉用牛	26,585	26,450	26,608	26,519	106,162	112,297	△ 6,135
豚	49,922	46,925	50,296	49,967	197,110	219,395	△ 22,285
採卵鶏	32,758	33,386	33,981	34,502	134,627	127,840	6,787
肉用鶏	51,819	49,853	53,346	53,020	208,038	211,737	△ 3,699
その他	150	150	150	150	600	600	0
計	166,382	161,911	169,532	169,304	667,129	694,951	△ 27,822

## (2) 通常補てん積立金

各青森県飼料荷受組合を通じて契約数量にトン当たり 800 円を乗じた額の積立金を第 1 四半期から第 4 四半期までの総額で 416,970,600 円を徴収し、一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金（以下「全日基」という。）に納付しました。

(単位：トン、円／トン、円)

四半期	契約数量	単価	積立金額	納付年月日
第 1	166,382	800	133,105,600	R6.4.26
第 2	161,911	800	129,528,800	R6.6.26
第 3	169,532	800	135,625,600	R6.9.27
第 4	169,304	800	135,443,200	R6.12.25
合計	667,129	—	533,703,200	—

## (3) 補てん金の交付

### ① 輸入原料価格及び補てん金単価

第 1 四半期から第 4 四半期を通じて、平均輸入原料価格が基準輸入原料価格を下回ったことから通常補てんの発動はありませんでした。

なお、第 1 四半期については、令和 5 年度第 2 四半期分を 4 分割交付した最終分割分 1,450 円／トンが交付されました。

(単位：円／トン)

区 分／四半期	第 1	第 2	第 3	第 4
平均輸入原料価格(A)	47,518	47,247	42,856	45,775
基準輸入原料価格(B)	52,282	50,504	48,762	46,509
価格差(A－B)	△ 4,764	△ 3,257	△ 5,906	△ 734
通常補てん単価	0	0	0	0
異常補てん単価	0	0	0	0
分割交付単価	1,450	—	—	0

### ② 補てん金の交付額

令和 5 年度第 2 四半期の最終分割交付は、対象数量 151,476,170 kg に対して交付額は 219,657,977 円、交付件数は 495 件となりました。

(単位：kg、円／トン、円、件)

四半期	対象四半期	対象数量	分割補てん金		交 付 件 数	交 付 年月日
			単価	交付額		
第 1	R 5 第 2	151,476,170	1,450	219,657,977	495	R6.8.19

#### (4) 別途納付金

別途納付金の納付は、納付の対象となる飼料基金への新規加入者がなかったことから、ありませんでした。

#### (5) 基金間移動

基金間移動は、「商系基金」「全農基金」「畜産基金」の3基金間を年度初め（第1四半期）と下期（第3四半期）に限り移動できるもので、令和6年度は、畜産基金からの転入が5件で移動数量は636トン、また、畜産基金への転出が1件で移動数量は4トンで、移動数量の転出入の差は632トンの増加となりました。

(単位：件、トン)

移動時期	移動区分	件数	転出入先	畜種	移動数量
第1四半期	転入(A)	1	畜産基金	乳用牛	208
		4	畜産基金	肉用牛	428
	計	5			636
	転出(B)	1	畜産基金	肉用牛	4
	転出入の差(A-B)	4			632

## 2 畜産経営安定対策事業（定款第4条第1項第2号事業）

### (1) 肉用子牛生産者補給金制度

#### ① 負担金及び手数料

乳用交雑種2,298頭をはじめ合計4,220頭の肉用子牛を登録し、各飼料荷受組合を通じて契約生産者から総額4,272,000円の負担金と手数料を徴収して畜産協会へ納付しました。

(単位：頭、円)

品種	個体登録頭数	負担金単価	負担金 ①	手数料 ②	納付額 (①+②)
黒毛和種	1,601	400	619,200	480,000	1,099,200
その他肉専	1	4,700	4,700	300	5,000
乳用種	320	1,700	544,000	96,000	640,000
乳用交雑種	2,298	800	1,838,400	689,400	2,527,800
合計	4,220	—	3,006,300	1,265,700	4,272,000

(注) 1. 黒毛和種53頭分の負担金21,200円は、畜産協会からの準備金から支出

2. 手数料単価：300円/頭

#### ② 生産者補給金の交付

令和6年度は、黒毛和種子牛の価格低下に伴い、第1四半期から第3四半期において対象頭数1,008頭に対して合計43,247,800円の生産者補給金が交付されました。

なお、令和5年度第4四半期については、令和6年7月1日に生産者補給金が交付されましたが、交付対象は、その他肉専用種でした。

(単位：人、頭、円/頭、円)

四半期	品種	契約生産者数	対象頭数	単価	金額	交付年月日
R5第4	その他肉専用種	2	19	90,510	1,719,690	R6.7.1
R6第1	黒毛和種	8	350	22,600	7,910,000	R6.9.24
第2	黒毛和種	8	332	65,100	21,613,200	R6.12.9
第3	黒毛和種	8	326	42,100	13,724,600	R7.3.21
(R5第4含む)合計		—	(1,027) 1,008	—	(44,967,490) 43,247,800	—

### ③ 受託事務費

受託事務費は、個体登録頭数に応じて1頭当たり500円が畜産協会から交付され、令和6年度は対象頭数が4,400頭で2,200,000円となりました。

(単位：頭、円/頭、円)

対象経費	対象頭数	単価	受託事務費計
個体登録頭数	4,400	500	2,200,000

## (2) 優良和子牛生推進緊急支援事業

本事業は、特に黒毛和種の子牛価格の低下が顕著なことから四半期毎のブロック別平均価格が発動基準を下回った場合に、その差額の3/4を奨励金として交付するもので令和5年1月から実施されました。

令和6年度は、第1四半期から第3四半期にかけて本事業の発動基準を下回った結果、対象頭数610頭に対して総額18,300,000円の奨励金が交付されました。

四半期	品種 (ブロック)	発動基準 価格 (円/頭)	平均販売価格 (円/頭)	奨励金 発動基準	奨励金交付 対象頭数 (頭)	交付額 (円)	交付 年月日
令和6年度 第1	黒毛和種 (東北)	570,000	531,601	C	179	5,370,000	R6.9.24
令和6年度 第2	黒毛和種 (東北)	570,000	501,095	C	209	6,270,000	R6.12.9
令和6年度 第3	黒毛和種 (東北)	570,000	533,659	C	222	6,660,000	R7.3.21
合 計					610	18,300,000	—

### (3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

- ① 積立金管理者：畜産協会
- ② 契約生産者：21個人・12法人
- ③ 業務対象年間：令和4年度～令和6年度（3年間）
- ④ 受託事務

肥育牛の登録から販売までの関係書類の確認と送付等の事務を県畜産協会から受託するとともに、飼料荷受組合を通じて生産者負担金（積立金）と手数料を徴収し、県畜産協会へ納付しました。

#### ア 生産者負担金（積立金）及び手数料

令和6年度は、対象頭数14,805頭に対して生産者負担金は200,085,000円、手数料は9,105,075円となり、合計209,190,075円を県畜産協会へ納付しました。

(単位：頭、円)

区分	頭数	負担金	手数料	合計
肉専用種	5,504	93,566,000	3,384,960	96,950,960
交雑種	4,499	58,499,000	2,766,885	61,265,885
乳用種	4,802	48,020,000	2,953,230	50,973,230
合計	14,805	200,085,000	9,105,075	209,190,075

#### イ 交付金の交付額（別表1）

令和6年4月期から令和7年3月期までに交付された交付金は、交付頭数11,430頭に対して546,539,230円となり、品種別では肉専用種が296,854,793円、交雑種が23,466,955円、乳用種が226,217,482円でした。

#### ウ 受託事務費

受託事務費は、賃金や通信運搬費等の事務全般を対象とした事務費、個体登録を対象とした事務費及び負担金及び手数料を徴収する事務費の3種類あり、令和6年度の合計額は5,298,085円でした。

(単位：頭、円/頭、円)

受託事務	対象頭数	単価	受託事務費計
事務全般（賃金、通信運搬費、消耗品費）	—	—	143,000
個体登録のための月齢確認等	14,930	142	2,120,060
負担金及び手数料の徴収	14,805	205	3,035,025
合計	—	—	5,298,085

別表1 牛マルキン交付金の交付額（令和6年度）

（単位：頭、円／頭、円）

区分	肉専用種			交雑種			乳用種			合計		
	頭数	単価	金額	頭数	単価	金額	頭数	単価	金額	交付対象頭数	実交付頭数	金額
4月期	460	46,917.9	21,582,224	287	0.0	0	434	19,021.5	8,255,330	1,181	894	29,837,554
5月期	374	82,253.7	30,762,879	263	0.0	0	463	34,847.1	16,134,204	1,100	837	46,897,083
6月期	408	115,868.7	47,274,423	290	23,265.9	6,747,104	469	41,036.4	19,246,069	1,167	1,167	73,267,596
7月期	419	86,627.7	36,297,001	320	38,994.3	12,478,170	509	49,389.3	25,139,152	1,248	1,248	73,914,323
8月期	374	149,180.4	55,793,464	314	3,827.7	1,201,891	434	53,922.6	23,402,406	1,122	1,122	80,397,761
9月期	436	99,643.5	43,444,562	324	5,550.3	1,798,291	534	52,113.6	27,828,661	1,294	1,294	73,071,514
10月期	472	82,407.6	38,896,380	357	3,477.6	1,241,499	510	42,574.5	21,712,994	1,339	1,339	61,850,873
11月期	562	0.0	0	347	0.0	0	440	39,900.6	17,556,263	1,349	440	17,556,263
12月期	590	0.0	0	352	0.0	0	478	40,308.3	19,267,365	1,420	478	19,267,365
1月期	378	40,339.8	15,248,440	315	0.0	0	477	53,238.6	25,394,810	1,170	855	40,643,250
2月期	413	4,381.2	1,809,433	329	0.0	0	422	32,234.4	13,602,915	1,164	835	15,412,348
3月期	517	11,114.1	5,745,987	330	0.0	0	404	21,478.5	8,677,313	1,251	921	14,423,300
交付対象頭数計	5,403	-	-	3,828	-	-	5,574	-	-	14,805	-	-
交付頭数及び金額計	4,251	-	296,854,793	1,605	-	23,466,955	5,574	-	226,217,482	-	8,819	546,539,230

#### (4) 肉豚経営安定交付金制度

##### ① 肉豚生産者数及び事業対象頭数（年間契約頭数）等

肉豚生産者数 (戸)	事業対象頭数 (頭)	負担金 (円/頭)	事務委託費 (円/頭)
23	388,564	400	10

##### ② 負担金及び事務委託費の徴収

(単位：頭、円)

期別/項目	事業対象頭数	負担金	事務委託費	合計	納付月日
第1四半期	95,710	38,221,500	957,100	39,178,600	R6.7.18
第2四半期	94,951	37,905,400	949,510	38,854,910	R6.9.18
第3四半期	99,371	39,663,400	993,710	40,657,110	R6.12.20
第4四半期	98,532	39,332,800	985,320	40,318,120	R7.3.19
合計	388,564	155,123,100	3,885,640	159,008,740	—

##### ③ 交付金の交付

(単位：円/頭、円/kg、kg/頭)

項目/期別	第1四半期	第1～2四半期	第1～3四半期	第1～4四半期
標準的販売価格 (A)	47,160	48,970	46,734	45,859
平均枝肉価格	596	629	599	583
平均枝肉重量	77.7	76.5	76.6	77.2
標準的生産費 (B)	42,631	42,737	42,720	42,715
差額 (C = A - B)	4,529	6,233	4,014	3,144
交付金 (C × 0.9)	なし (A > B)			

### 3 畜産高度化支援リース事業（定款第4条第1項第3号事業）

#### (1) 貸付料及び譲渡代金

令和6年度は、貸付料等が23件で金額は48,403,104円を整備機構に納付しました。なお、リース料支払い完了に伴う譲渡はありませんでした。

(単位：件、円)

区分	内訳	件数	支払額
貸付料等	基本貸付料、付加貸付料、消費税、動産総合保険料、保証保険料	23	48,403,104

また、新規の貸付けは機械台数が14台で、取得価格（税抜き）の合計は、304,965,000円でした。

(単位：台、円)

No.	畜種	事業区分	貸付施設等	台数	取得価格 (税抜き)	貸付 決定日
1	採卵鶏	経営 リース	袋詰装置	1	17,268,000	R6. 4. 12
			パレタイジング	1	9,232,000	
			ショベルローダー	1	7,055,000	
			ダンプカー	1	8,530,000	
			計	4	42,085,000	
2	採卵鶏	経営 リース	トラック	1	8,530,000	R6. 5. 10
			脱着コンテナ (アームロール用)	1	1,600,000	
			ホイールローダー	1	7,730,000	
			計	3	17,860,000	
3	採卵鶏	経営 リース	異常卵検査装置	1	3,526,000	R6. 11. 28
			汚卵検出装置	1	7,981,000	
			炭酸次亜水製造装置	1	3,493,000	
			計	3	15,000,000	
4	採卵鶏	経営 リース	攪拌発酵機	1	22,720,000	R6. 12. 25
5	採卵鶏	経営 リース	ケージシステム	1	71,900,000	R7. 2. 18
6	採卵鶏	経営 リース	トラック (雛運搬用)	1	20,400,000	R7. 3. 31
			ケージシステム	1	115,000,000	
			計	2	135,400,000	
合 計				14	304,965,000	

## (2) 業務委託費等

平成24年10月1日以降に契約し、令和6年度に貸付料が納付されたものを対象に業務委託費及び再貸付手数料が、また、平成24年9月30日以前に契約し、令和6年度に貸付料が納付されたものを対象に再貸付手数料等がそれぞれ交付され、その合計は232,427円でした。

区 分	金額 (円)	交付対象
業務委託費	9,000	平成24年10月1日以降に契約したもので、 令和6年4月から令和7年3月までに貸付料が 納付されたもの
再貸付手数料	153,229	
再貸付手数料等	70,198	平成24年9月30日以前に契約したもので、 令和6年4月から令和7年3月までに貸付料が 納付されたもの
合 計	232,427	

#### 4 家畜集出荷奨励事業（定款第4条第1項第5号事業）

黒毛和種及び交雑種の肥育技術の向上と「あおり牛」の地域銘柄を確立することを目的に、IHミートパッカー株式会社十和田ビーフプラントと全農青森県本部が事務局となってる「あおり牛販売促進協議会」からの助成を受けて、枝肉研究会を開催しました。

- (1) 名称 令和6年度青森県配合飼料基金枝肉研究会
- (2) 場所 IHミートパッカー株式会社 十和田ビーフプラント
- (3) 開催時期 令和6年11月29日（金）
- (4) 出品頭数 黒毛和種15頭、交雑種15頭 計30頭
- (5) 受賞者  
チャンピオン賞（黒毛和種の部） 有限会社金子ファーム  
優 秀 賞（黒毛和種の部） みらいファーム株式会社  
水梨農場 水梨敏晴 氏  
優 秀 賞（交雑種の部） 坂田弘志 氏
- (6) 研究会  
演題：最近における牛枝肉の格付動向について  
講師：公益社団法人日本食肉格付協会十和田事業所 所長 伊藤和仁 氏

<参考：チャンピオン牛の枝肉成績>

区分	枝肉重量 (kg)	格付等級	ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )	バラ厚 (cm)	皮下脂肪 (cm)	BMS (脂肪交雑)	BCS (肉色基準)
チャンピオン牛	590.5	A-5	83	10.8	2.5	12	3
出品牛(15頭)平均	525.3	A-4.8	77	9.7	2.7	10.2	3.4

#### 5 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（国庫補助事業）

令和2年3月に基金協会内に設置した「青森県配合飼料基金畜産クラスター協議会」において、傘下の畜産経営者の規模拡大と収益性向上を目的に次のとおり事業に取り組みました。

##### (1) 機械導入事業

事業参加の要望調査は2回あり、事業参加者は各1名の計2名でした。事業への参加が承認された機械装置は、別表2に示したとおりで、事業費（税込み）は48,862,000円、補助金額は22,210,000円でした。

別表2 令和6年度畜産クラスター事業（機械導入事業）の実績

青森県配合飼料基金畜産クラスター協議会														
要望 回次	No.	機械装置名	メーカー名、型式名	台数	耐用 年数	事業費 (税抜き、円)	消費税 (円)	事業費 (税込み、円)	補助金額 (円)	参加申請書 提出日	参加承認 月日	参加承認 までの日数	機械装置 の導入年 月日	実績報告 書の提出 年月日
第1回	1	表層攪拌用機械装置(ロータリー)	MASCHIO GASPARDO、C300H	1	7	2,850,000	285,000	3,135,000	1,425,000					
	2	心土破砕用機械装置(サブソイラ)	imants、Cuiter25MK II	1	7	1,800,000	180,000	1,980,000	900,000					
	3	グラスシダー	LEHNER、V230-8	1	7	950,000	95,000	1,045,000	475,000	R6.7.31	R6.10.1	62	R6.12.6	R6.12.26
	4	コンビネーションベラー(※ローレルベラー+ラッピングマシン)	Deere&Company、JD-C441R、CPNRG13-P	1	7	15,750,000	1,575,000	17,325,000	7,875,000					
			計	4		2,135,000	23,485,000	10,675,000						
第2回	1	自動給餌機	中嶋製作所、RC-38型NK13-04ホッパー193台、64台、224台、58台付き	4	7	10,470,000	1,047,000	11,517,000	5,235,000				R7.5.12	R7.5.30
	2	ロータリー式攪拌装置	天神製作所、5型-1500H、2連トラバースー	1	7	11,000,000	1,100,000	12,100,000	5,500,000	R6.11.26	R7.1.6	41	R7.3.19	R7.4.11
	3	マニユアスプレッダー	アテックス、MS650MB	1	7	1,600,000	160,000	1,760,000	800,000				R7.3.27	R7.4.11
			計	6		23,070,000	2,307,000	25,377,000	11,535,000					
			合計	10		44,420,000	4,442,000	48,862,000	22,210,000			52		

## (2) 優良繁殖雌牛更新加速化事業（令和6年度新規事業）

本事業では、機械導入事業と同様、『畜産クラスター計画』に位置付けられた「中心的な経営体」が、高齢の繁殖雌牛から優良な繁殖雌牛に更新する場合に更新実績に応じて奨励金が交付されるものです。

令和6年度の事業実績は、事業参加者2名の補助対象頭数4頭に対して計40万円の奨励金が交付されました。

(単位：頭、万円)

事業参加者	高齢繁殖雌牛区分		繁殖雌牛更新(導入・保留) 奨励金区分		奨励金対象頭数 (①+②)	奨励金 交付額 (万円)	奨励金 交付 年月日
	総飼養頭数のうち 満10歳(120か月 齢)以上の繁殖雌 牛	高齢繁殖雌牛 更新計画頭数	優良な繁殖雌牛 ① (10万円/頭)	※別表3に定める 種雄牛を父としな い繁殖雌牛 ②			
2名	10	5	3	0	3	30	R7.3.19
	4	2	1	0	1	10	
合計	14	7	4	0	4	40	

(注) ※遺伝的多様性に配慮して、特に希少な父牛に由来する繁殖雌牛を対象とするため、別表3には現在、供用されている主要な種雄牛を記載し、これ以外の優良な種雄牛を父牛とすることを1頭当たり15万円の補助要件としている。

## 6 配合飼料価格高騰対策事業（青森県単独事業）

本事業は、コロナ禍から続くエネルギー価格の高騰に加え、国際情勢の変化や円安等を背景に高止まりが続いている配合飼料価格によって経営が圧迫されている畜産経営者の負担軽減を図るため、配合飼料価格上昇分の一部を助成することを目的に実施しました。

- (1) 補助対象者：配合飼料価格安定制度の加入者
- (2) 補助対象期間：令和5年度第3四半期～第4四半期（10月期～3月期）
- (3) 補助単価：トン当たり3,000円以内
- (4) 補助対象数量

補助対象期間における配合飼料価格安定制度の契約数量又は購入数量のいずれか低い数量

- (5) 事業実施主体：一般社団法人青森県畜産協会
- (6) 配合飼料購入数量の報告

令和5年度第3四半期は通常補てんが発動したことから、発動の対象数量を補助対象数量とし、通常補てんが発動がなかった第4四半期については、各飼料荷受組合から加入者分の数量報告書の提出を依頼しました。

- (7) 事業実績

交付対象者は471名で、交付対象数量は321,372トン、助成金交付額は964,116,000円で令和6年7月24日に交付し、補助対象数量を過少計数していた生産者に対しては、12月9日に追加交付しました。

交付対象 四半期	交付対象者 (名)	交付対象 数量(トン)	交付単価 (円/トン)	助成金交付額 (円)	交付 年月日
令和5年度 第3及び第4 四半期	471	321,372	3,000	951,117,000 13,002,000 計964,116,000	令和6年7月24日 令和6年12月9日

(注) 助成金交付額及び交付年月日の下段は追加交付を示す。